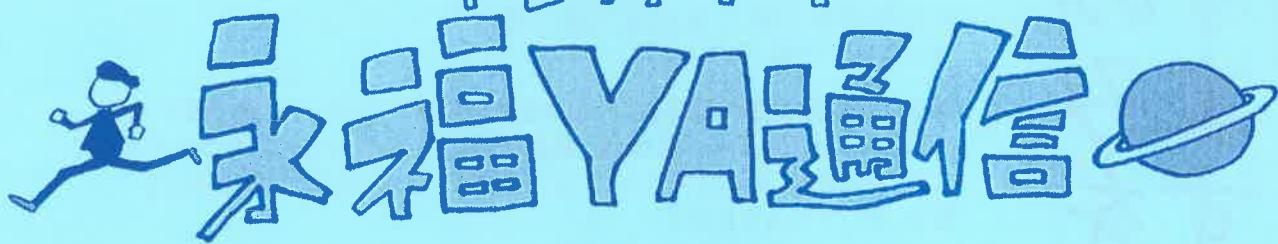


音楽を楽しむための音楽情報誌

2019年 6月号
Vol. 15



6月特集「音 あと」

永福YA通信6月号のテーマは「音」。人の声、楽器の音、小川のせせらぎ、生き物の鳴き声、聞こえる音、聞こえない音…。世界にはさまざまな音があふれています。その本から響いてくるのは、どんな音でしょうか？

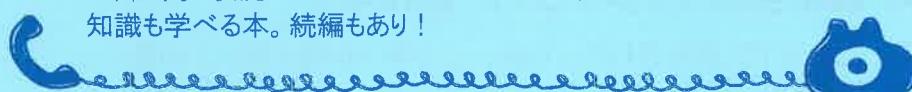


太陽と君の声 [1]

川端裕人／作 朝日学生新聞社

請求記号: YA 力259

三年生との引退試合の日、サッカーチームのキャプテンに就任した一輝。「明るいサッカー」を目指して、親友の丈助と一緒にチームを盛り上げていこうと張り切っていたが…。視力が低下する難病を患い絶望的になってしまった少年が、ブラインドサッカーに出会い輝きを取り戻していく物語。もし自分が、友達が、家族が、一輝と同じ状況になったらあなたはどうしますか？ ブラインドサッカーの基礎知識も学べる本。続編もあり！

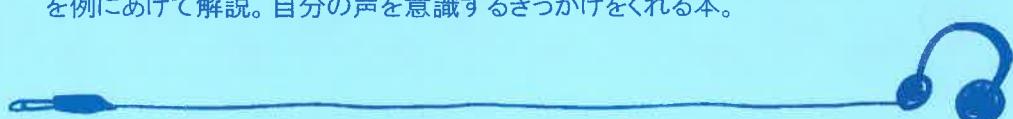


声のサイエンス あとの人の声は、なぜ心を揺さぶるのか

山崎広子/著 NHK出版

請求記号: 491.3ヤ

生まれてから、死ぬまで生涯でもっとも聞く音、それは、あなたの「声」と著者はいう。電話の声から相手の感情を読み取ったり、時には病を見つけたりすることもある。声とは一体何だろう。声の持つ自他への影響力を政治家や、歌手を例にあげて解説。自分の声を意識するきっかけをくれる本。



ぎぶそん

伊藤たかみ／著 ポプラ社

請求記号: 児童 913イ

四人組の中学生バンドが、ガンズ・アンド・ローゼスを文化祭で演奏するまでを描いた、友情と初恋と音楽が絶妙なハーモニーを奏でる青春小説。今まで聞いたことのない音、声、リズムに魅了され、文化祭まで突っ走る彼らの奮闘ぶりがさわやかで、こちらまで元気になれる一冊です。



音楽の世界で、歌うて踊るよ。歌うて踊るよ。



おと♪

みみをすます

谷川俊太郎／詩 長新太／絵 韶文社
請求記号:児童 911タ

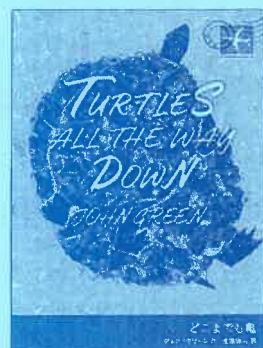
詩人、谷川俊太郎の詩集。この本は後ろから開いていくと、英語で書かれ同じ詩に出会えます。日本語と英語の両方で朗読されたCDもついています。目を閉じ、みみをすまして、詩の世界を、また、自分の周りのおとを聴き、感じてみませんか？

永福YA通信 —— YA向け新刊情報 ——

どこまでも亀

ジョン・グリーン／作 金原瑞人／訳 岩波書店
請求記号:児童 930ク

主人公のアーザは強迫性障害に苦しむ高校生。普段は友達と楽しくやっているし、恋だってしてる。でも「それ」がはじまると、自分で自分を傷つけてしまう。アーザは「それ」をどうするのか？この物語の舞台インディアナの高校生活は、日本の高校生活とはちょっと違うけど、友達や親との関係、それぞれが抱える問題や苦しみに共感できるのでは？



「いま、この本」最新号とバックナンバー配布中！

永福図書館の3階のYAコーナーでは、これまでに発行された「いま、この本（小冊子版）」の最新号とバックナンバーの一部を配布しています。

中学生・高校生世代に紹介したい本を、図書館員が幅広いジャンルから選んだブックリストです。あらすじや読みどころも載っているので、ぜひ手に取ってみてください。本選びに迷った時に、きっと役に立つと思います。

また、杉並区立図書館ホームページ「ヤングアダルトページ」の「いま、この本（web版）」では、各館のYA担当者が毎月おすすめの本を紹介しています。五月は永福図書館が担当し、三冊の本を紹介しました。ぜひアクセスして読んでみてくださいね！



永福YA通信 2019年6月号 (Vol.15)

編集・発行:杉並区立永福図書館
〒168-0064 東京都杉並区永福4-25-7
☎ 03-3322-7141

<杉並区立図書館ホームページ>
<https://www.library.city.suginami.tokyo.jp/>

※書籍の表紙画像は、出版社の許諾を得て掲載しています。

<モバイル専用>
杉並区立図書館
ホームページ QRコード

こちらからアクセスできます

